

平成30年一関遊水地における小麦の浸水・冠水被害の実態

【1 成果概要】

平成30年3月8～9日、5月18～19日の大雨により、一関遊水地において発生した小麦の浸水・冠水被害について実態調査をしました。

- (1) 「ゆきちから」では、3月・5月の浸水・冠水時間が長いほうで穂数が少なく、低収でした。また、5月の浸水時間が長いほうが整粒不足により検査等級が低くなりました。



図1 5月冠水後の小麦

- (2) 「銀河のちから」では、浸水しなかったほ場に比べ、屑粒割合が高く、千粒重が低下し、低収となりました。3月の浸水時間が長いほど、6月上旬から枯れ上がった穂が多くなり、屑粒割合が高く、千粒重が低く、低収となりました。また整粒不足により検査等級が低くなりました(図2、3、表)。



図2 6月上旬の「銀河のちから」

- (3) 「銀河のちから」は、5月の浸水・冠水時の生育ステージが、「ゆきちから」より進んでいたため大きく影響を受けたと考えられます。

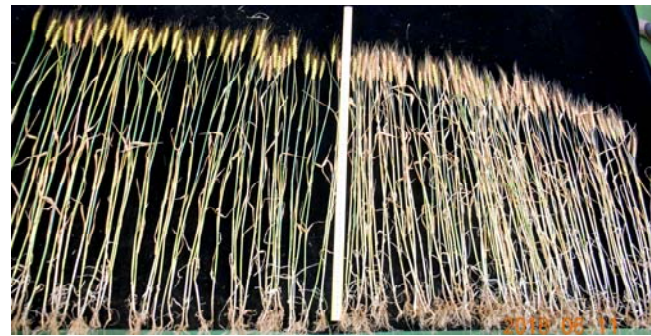


図3 「銀河のちから」の枯れ上がり状況

表 各生育ステージおよび収量調査・品質

品種	3月		5月		出穂期	開花期	全穂数 (本/m ²)	収量 (kg/10a)	屑粒割合 (%)	千粒重 (g)	検査等級	落等理由
	浸水	冠水	浸水	冠水								
ゆきちから	28hr	7hr	53hr		5/15	5/22	444	363	2.1	35.7	2上・2下	整粒不足
	48hr	24hr	53hr<				330	261	1.2	38.8	外・2下	整粒不足
銀河のちから				7hr			524	217	14.5	34.5	1中	整粒不足
	28hr	7hr	53hr		5/7	5/21	576	199	23.9	33.6	2下・2中	整粒不足、被害粒多
	48hr						472	658	1.7	36.4	1下・1中	開溝
			無※		5/3	5/9						

注1) 浸水時間は冠水時間を含む(時間は推定)

注2) 検査等級: 1上、1中、1下、2上、2中、2下、外

※: 一関遊水地・長島地区

【2 留意事項】

- ほ場が浸水・冠水した場合は、明渠や排水溝を点検・補修し、早期排水に努めましょう。
- 融雪期追肥前に浸水・冠水した場合、生育を早期回復させるため、速やかに追肥作業を行いましょう。
- 開花期の浸水・冠水は、赤かび病等の病害発生・助長が懸念されるため、防除にあたっては、広範囲の病害に効果のある薬剤の選択および、追加防除について検討しましょう。

担当研究室 技術部 作物研究室

〒024-0003 岩手県北上市成田 20-1

TEL. 0197-68-4417 FAX. 0197-68-1083